

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年7月9日

【2018年6月30日～2018年7月6日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。週半ばまでは、米国と中国の間での貿易摩擦に対する警戒感や中国元・中国株の下落が、市場のリスク回避姿勢につながりました。ブラジル・レアルは、週末の米国の雇用統計を受けて米ドルが下落したことから上昇しました。

経済指標では、マークイットの各種PMI(購買担当者指数)や、鉱工業生産などが発表されました。製造業PMIは今年初めて50を下回ったほか、鉱工業生産も前月比で大幅下落となるなど、ストライキの影響が改めて懸念される結果となりました。

大統領選挙については、データモデル360で最新の世論調査が発表されています。ルラ前大統領が不出馬という前提では、極右のボウソナロ氏が優勢な状況です。ただ、どの候補者を支持するかまだ決まっていない有権者が多く、今後の世論は選挙キャンペーン次第で大きく変わってくるものとみられます。

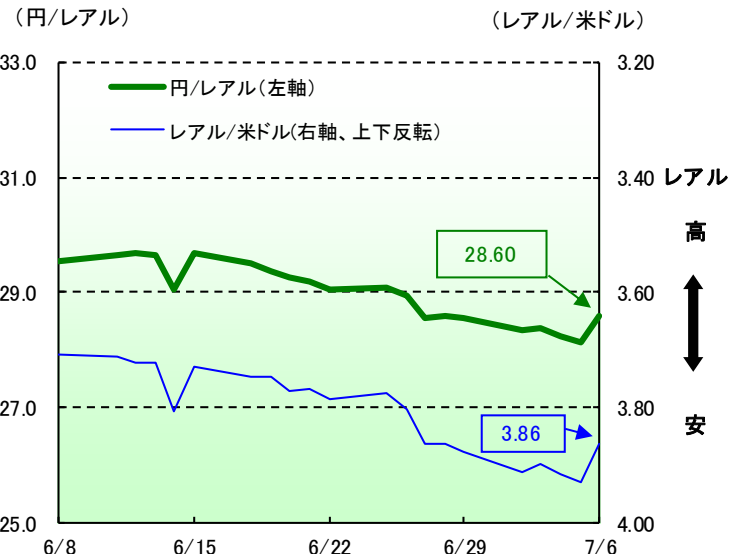
【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率のほか、小売売上高などの経済指標が発表される予定です。インフレ率は短期的にはストライキによる影響で上振れが予想されています。

市場でリスク回避姿勢が継続しブラジル・レアル安が続く中、ブラジル中央銀行は必要に応じて措置を講じる方針を打ち出しています。それでも、ブラジル中央銀行は通貨スワップによる為替介入を足元では実施していません。通貨安が継続した場合のブラジル中央銀行の姿勢も注目されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

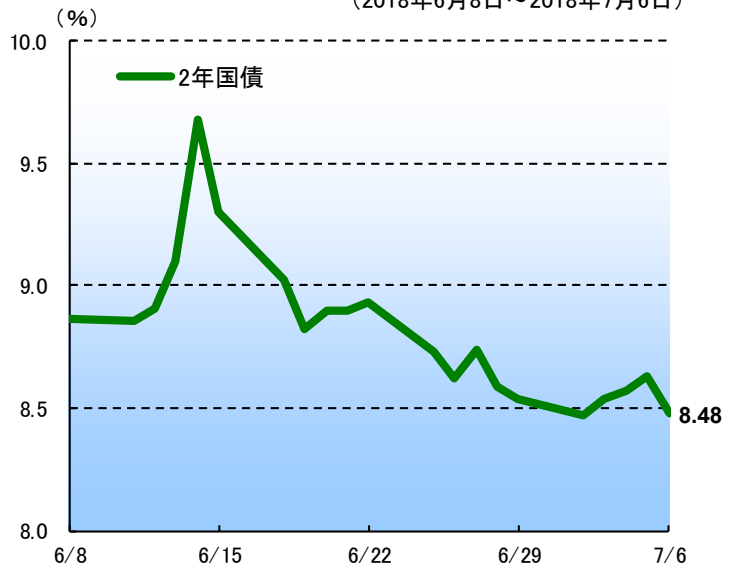
(2018年6月8日～2018年7月6日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年6月8日～2018年7月6日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management